

2014年度 受験のご案内

土木学会認定 土木技術者資格

国土交通省や地方公共団体が発注する業務などで認定土木技術者の活用が進んでいます。

入社のためのエントリーシートで土木技術検定試験の可否の確認が進んでいます。

- ◇土木学会会員以外の方にも資格を認定しています。
- ◇詳細はホームページをご覧ください。

受験申込期間

**6月1日(日)～
6月30日(月)**
(インターネット申込み)

(但し、土木技術検定試験は随時申込が可能です。)

◇土木学会の土木技術者資格制度は、「倫理観と専門的能力を有する土木技術者を土木学会が責任を持って評価し、これを社会に明示すること」を目的としています。

◇資格は4つの階層に分かれており、各資格は将来の土木技術者像を考慮した資格分野から構成されています。

◇継続教育(CPD)とリンクした更新制度が特徴です。

■2014年度の各資格の審査方法等は以下のとおりです (○:実施するもの、-:実施しないもの)。

資格名	筆記試験			審査実施時期
	択一式問題	記述式問題	口頭試問	
特別上級土木技術者	-	-	○	口頭試問: 11月15日(土)
上級土木技術者	コースA	-	○	筆記試験: 9月6日(土) 口頭試問: 11月15日(土)
	コースB	-	○	口頭試問: 10月～12月の土曜日、日曜日(分野毎に日程を設定)
1級土木技術者	コースA	-	-	筆記試験: 9月6日(土)
	コースB	-	○	口頭試問: 10月～12月の土曜日、日曜日(分野毎に日程を設定)
2級土木技術者(土木技術検定試験)	○	-	-	CBT*方式により全47都道府県の指定試験会場で通年受験可能。

*CBT: Computer Based Testing (コンピュータを利用した試験)

○上級土木技術者と1級土木技術者の審査では、技術士などの資格の有無を考慮します。

○コースAは筆記試験主体のコース、コースBは口頭試問主体のコースです。

○土木技術検定試験は、どなたでも受験することができます。

○コンピュータを利用した「土木技術検定試験」の結果を、2級土木技術者資格の認定に用います。

受験申込みは、土木学会 技術推進機構のホームページ <http://www.jsce.or.jp/opcet/> からお願いします。
(土木技術者資格制度)に関する情報は、上記ホームページに随時掲載しております。

お問い合わせ



公益社団法人 土木学会
技術推進機構まで。(土日祝日を除く)

TEL: 03-3355-3502
FAX: 03-5379-0125
E-mail: opcet@jsce.or.jp

2014年度の受験資格

※全資格、土木学会の会員以外の方も受験できます。

資格の名称	資格に要求される専門的能力	受験資格	
特別上級土木技術者 Executive Professional Civil Engineer	専門分野における高度な知識および豊富な経験に基づく広範な見識により、日本を代表する技術者として土木界さらには社会に対して、多面的に貢献できる能力。	<ul style="list-style-type: none"> ・実務経験年数が17年以上あることが必要です。 ・原則として上級土木技術者資格を持っている方。 	
上級土木技術者 Senior Professional Civil Engineer	複数の専門分野における高度な知識、あるいは少なくとも1つの専門分野における豊富な経験に基づく見識を有し、重要な課題解決に対してリーダーとして任務を遂行する能力。	受験対象者の業務経験は、責任ある立場で5年以上の経験年数を有していることが必要です。また、技術レベルは、担当プロジェクトの遂行に際し、必要技術に関する十分な知識を有するとともに、的確な判断力、マネジメント力により、責任ある立場で統括できる技術者であることを想定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・下位の資格を有していなくても、直接受験することができます。(1級、2級などの事前取得は不要です。) ・実務経験年数が12年以上あることが必要です。ただし、大学院在籍も実務経験と見なします。 【コースA】 <ul style="list-style-type: none"> ・「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有する受験者には、「経験に係わる課題」の解答提出と口頭試問を免除します。 	【コースB】 <ul style="list-style-type: none"> ・特別上級土木技術者資格もしくは上級土木技術者資格の認定者、または技術者としての経験が17年以上で受験者の技術力を評価できる方の推薦が必要です。ただし、「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有している方の受験申込に際しては、推薦は不要です。 ・「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有する方については、口頭試問の時間を短縮し、30分程度とします。
1級土木技術者 Professional Civil Engineer	少なくとも1つの専門分野における高度な知識を有し、自己の判断で任務を遂行する能力。	受験対象者の業務経験は、責任ある立場で3年以上の経験年数を有していることが必要です。また、技術レベルは、比較的小規模なプロジェクト、あるいは相当規模のプロジェクトの一部をなす業務の遂行に際し、自らの知識と経験に基づき、的確な判断ができる技術者であることを想定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・下位の資格を有していなくても、直接受験することができます。(2級の前取得は不要です。) ・実務経験年数が7年以上あることが必要です。ただし、大学院在籍も実務経験と見なします。 【コースA】 <ul style="list-style-type: none"> ・「技術士」または「RCCM」資格を有している方については、「共通問題」および「専門問題」のみとし、「経験問題」を免除します。 	【コースB】 <ul style="list-style-type: none"> ・特別上級土木技術者資格もしくは上級土木技術者資格の認定者、または技術者としての経験が12年以上で受験者の技術力を評価できる方の推薦が必要です。ただし、「技術士」または「RCCM」資格を有している方の受験申込に際しては、推薦は不要です。 ・「技術士」または「RCCM」資格を有している方については、口頭試問の時間を短縮し、30分程度とします。
2級土木技術者 Associate Professional Civil Engineer	土木技術者として必要な基礎知識を有し、与えられた任務を遂行する能力。	土木技術検定試験(コンピュータを利用した試験)において、合格された方には「2級土木技術者」の能力があると見なされ、1年以上の実務経験年数等の資格登録要件を満たせば、本人の申請により「2級土木技術者」の認定を受けることができます。(大学院在籍も実務経験と見なします) <ul style="list-style-type: none"> ・土木技術検定試験は、どなたでも受験することができます。 	